

エゾヤナギ

Salix rorida

ヤナギ科

名前の由来

「蝦夷（北海道）」のヤナギ。「ヤナギ」は①古く中国で矢をつくったことからヤノキの転。②成長しやすいためイヤナガ（彌長）の略。③梁をつくったことからヤナ木。④柔荑木（やわなぎ）の意。などといわれている。漢字名：蝦夷柳

形態的特徴

小石の多い河岸に生える落葉樹、樹高15m。葉は長楕円状披針形、長さ5～12cm、細鋸歯縁、表面光沢、裏面粉白色、互生、托葉は大きく目立ち遅くまで残る。枝先や葉が垂れる傾向がある。雌雄異株。花は雄花序の葯は黄色、雌花序は淡緑黄色、長さ4cm、4～5月葉より先に開花。果実は果序の長さ5cm、5～6月に成熟する。

類似種との見分け方：托葉が大きく、遅くまで枝に残り「托葉ヤナギ」と呼ばれる。葉の裏面はやや白く、指で触ると指紋が付きやすい。

またオノエヤナギと違い、縁が裏に巻き込まない。ネコヤナギと違い、葉の両面とも無毛。枝先や葉が垂れる傾向



エゾヤナギ

ケショウヤナギと同様に若枝が白ロウ質を被るが、エゾヤナギの一年生枝は紫褐色～黄褐色でまた冬芽は扁平形であり、ケショウヤナギの暗紅色～赤褐色の枝、円筒形の冬芽と異なる。

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
鳥類
ワシ・タカ



エゾヤナギの雄花



開ききった
エゾヤナギの雄花



エゾヤナギの雌花



エゾヤナギの葉。托葉が遅くまで残る。両面とも無毛。裏は触ると指紋が付きやすい



エゾヤナギの樹形



エゾヤナギの樹皮



エゾヤナギの冬芽



エゾヤナギの枝先は垂れる傾向

生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期	■											
結実期		■										

生育環境・分布

中流域（から上流域）の玉石質や礫質の河原に生育する。

分布：国外分布は、樺太、朝鮮、ウスリー、アムール。

国内分布は、北海道、本州（長野県）。北海道内では、全道。十勝地方生育状況は十勝川中流域に分布。

繁殖生態・寿命

4～5月葉より先に開花。蜜腺を持つ虫媒花。果実は果序の長さ約5cm、5～6月に成熟。ヤナギ類の種子には無数の長毛がつき、風散布される。その距離は数100mから数

10kmにまで達するという。寿命は〈高木類のヤナギで〉30～50年？

他生物との関わり

コムラサキやヒオドシチョウ（チョウ類）の幼虫の食樹となる。

《ヤナギ一般》花の少ない早春に開花するので、この時期の昆虫にとって貴重な吸蜜源となる。また、ヤナギ類は新条（その年に出た枝）が伸びるにつれ新しい大きめの葉を先に付けるが、早くから出た葉は順番に落ちていく。これによって長期に渡り水生昆虫に餌を供給でき、魚を養うことができる。



コムラサキ。幼虫時エゾヤナギなどのヤナギを食樹とする

植栽関係

挿し木（枝挿し）に適している。

一般的にヤナギの挿し木には、直径1～3cm（枝齢2～5年生）でまっすぐなものが良く、長さ30cmが基準となる。無理矢理打ち込まず、案内棒などで穴を開けて、斜めに埋

めることが望ましい。上下間違わないようにすることも大切である。埋枝時期は落葉後の晩秋、発葉前の早春までが適当である。なおクロボク土といわれる黒土は客土してはならないという。

興味深い話

■護岸などに用いられる。

■〈ヤナギ一般について〉多くのヤナギ類は挿し木に向いていて、「さし木にも風はそよぎて柳かな」（里童）という俳句があるほどである。『万葉集名物考』（著者、刊行年代不明『日本文学古註釈大成』に収録）には「柳は枝を折て地上にさしおけば生ひやすく根植はかへりて育たぬもの也」とあって、挿し木の場合は根付きやすいが、移植は育ちにくいことを示している。しかし一般的にヤナギ類は、移植には強いと言われ、相当大きな木でも発葉前の適期に移動し、枝をかなり剪定することでより良く活着するという。

■ヤナギは全体として早熟性であり、発芽後10年ほどで種子散布をおこなう。また風散布によって種子が遠距離まで分散するため、その生育域を短期間に広げる可能性を持ち、「速足の旅人（クイックトラベラー）」と呼ばれるという。



初春のエゾヤナギ。花芽（つぼみ）がふくらんでいる

配慮事項

特になし。

参考文献

「北海道 樹木図鑑」佐藤孝夫 亜璃西社 1990
「新版 北海道の樹」辻井達一・梅沢俊・佐藤孝夫 北海道大学図書刊行会 1992
「図説花と樹の大事典」木村陽二郎 監修 植物文化研究会・雅麗 編集 柏書房 1996
「北海道 庭と庭木のすべて」原秀雄・須田輝 北海道新聞社 1978

「樹木大図鑑」高橋秀男監修 北隆館 1991
「ヤナギ類 その見分け方と使い方」斎藤新一郎（社）北海道治山協会 2001
「森林で遊ぼうシリーズ1 おもしろい木の話」北海道立林業試験場 監修 北海道林業普及協会 1996
「北見の蝶」木村辰正 北見市教育委員会 1994

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

（在来種）草花

（外来種）草花

哺乳類

（水辺）鳥類

（草原・森林）鳥類
ワシ・タカ